



平成29年度 学校だより

# 緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

No.151 平成29年10月31日発行

発行責任者 松井裕次

校長室の窓から

## 進学校としてのユネスコスクール

校長 松井 裕次

### ユネスコスクールへの道

県教委、文科省、日本ユネスコ本部の審査を経て、世界ユネスコ本部へ申請書を提出した。「手続き中であることを公表してよい」という連絡を受け、全校生徒に説明した。ユネスコスクールとは、ユネスコの平和、教育、科学、文化の理念に沿った取組みを継続的に実施し、国連の持続可能な開発目標に向かって活動している学校のことである。南高の海外研修、国際理解学習、環境美化活動、エコ活動、特別支援学校との交流、乳幼児ふれあい体感事業、フィリピンの子どもたちにシューズを贈る活動、被災地支援活動などが高く評価されている。今年も修学旅行では、震災復興学習で福島を訪れる。

### SDGs (Sustainable Development Goals、エスディーゼイズ、持続可能な開発目標)

2015年に国連全会一致で採択されたものであり、加盟193か国が2030年までに達成するとした17の目標である。開発途上国への支援はもちろん、先進国のあり方、世界を包括する広がりのある目標となっている。

10月も下旬、季節はずれの台風が立て続けに発生し、日本列島に甚大な被害を及ぼしている。世界の繁栄を支えてきた生産と消費そして廃棄が大量の二酸化炭素の排出を生み出している。今、世界は多くの課題に直面している。国際理解・多文化共生、世界遺産や文化財、人権、平和、環境、生物多様性、気候変動、防災、エネルギー、情報などの課題をどう捉えていけばいいのだろうか。現代の人々が幸せな社会であることはもちろん、未来の人々にとっても幸せな社会になるように持続可能な社会を発展させていかなければならない。

### 進学校としてのユネスコスクール

新しいことをやろうとしているのではない。まずは、授業の中で知ること。人間として共に生きることを意識して学ぶのである。授業を通して複雑な世界の理解に努め、将来の学習のための基礎を作り、グローバル化する経済や社会において、活躍していくためのスキルを身につけてほしい。

様々な課題について、教科書のどの単元で、どんな内容を、どの様なねらいで学ぶのだろうか。高校の教育課程には、ユネスコの理念が多く盛り込まれている。南高では、各教科スタッフがそれらを整理し互いに共有することに取り組んできた。それは全教科・科目の39単元に及ぶ内容である。持続可能な社会を創っていくために、私たちが教科書で学んでいることをリンクさせ、各教科の側面から意識的・多面的に学んでいくのである。従前も数学や理科をはじめ教科間のリンクは行われてきた。これらの論点に向き合い思考を深めることは、新しい大学入試にもつながっていく。

### 誰かのためになりたい

主体的に学ぶことにより、地球上で起きている様々な課題の重要性について認識し、他者と協働しながら解決を目指す能力・態度を身に付けてほしい。環境や社会、そして人への「思いやり」を持つことが大切であると考え。先日、校内で朝倉の災害復興ボランティアを募集したら40名の応募があった。台風で実現できなかったが、「誰かのためになりたい」、その思いを大切に生きてほしい。必ずや学ぶ意欲と、発信し行動するエネルギーにつながってくる。

## ○地域清掃

10月4日（水）午後、地域清掃が行われました。昨年度が天候不良により実施を見送ったため、2年ぶりの実施となりました。通学路・日宇川など学校近隣の各所をクラスごとに分かれて清掃活動に取り組んだのですが、用意していた袋が足りなくなるくらい、生徒たちは熱心にゴミを集めていました。校舎の外に出て、季節の変化を感じるとともに、改めて地域の環境に支えられて普段の学校生活が送れているのだと実感することが出来ました。これからも地域貢献・環境美化の精神を忘れずにいてもらえたらと思います。



## ○センター100日前集会

10月4日（水）、3年生生徒対象にセンター試験100日前集会を本校体育館で実施しました。昨年度に引き続き、北九州予備校の有吉 淳氏にご講演をいただき、保護者も10名ほど出席していただきました。「学力アップ」のために重要なことは①よく寝る ②よく食べる ③よく学ぶ の3つの土台を固めること。これをきちんと実行するための生活のリズムに関する話や授業や模試の復習の大切さなどの具体的なアドバイスをいただきました。生徒たちにとって、これまでの生活を振り返り、今後の決意を固める機会となりました。70回生のこれからの飛躍に大いに期待します。

## ○桜が丘特別支援学校との交流学習会に参加

10月6日（金）に県立桜が丘特別支援学校で交流会が行われました。本校からは、家庭部・生徒会役員を中心に参加者を募り、計14名が参加しました。オリエンテーションの後、カレー調理班と記念品製作班に分かれ活動を行いました。昼食は支援学校の先生方を交えての楽しい昼食会、その後は「ポッチャ」「ゴロ卓球」「バッコー」のゲームで盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。帰り際には学校玄関が別れを惜しむ生徒であふれ、有意義な交流会となりました。





## ○佐世保特別支援学校文化祭に参加

10月15日(日)県立佐世保特別支援学校で文化祭が開催され、本校からは吹奏楽部30名が参加し交流演奏を行いました。「学園天国」「勇気100%」「宝島」を演奏し、アップテンポの曲に会場は盛り上がりました。この交流は長く続いており、以前、吹奏楽部の生徒が、佐世保特別支援学校に通う自分の兄弟に演奏を聴かせたいという思いから交流が始まったと聞いています。



## ○人生の達人セミナー

10月11日(水)、佐世保中央病院で外科医として勤務されている菅村洋治先生をお招きし、「海外医療支援に参加して」と題してご講演をいただきました。

菅村先生は、国境なき医師団(MSF)や災害人道医療支援(Human)のメンバーとして、ナイジェリア、イラン、コンゴ、スリランカ、フィリピン、パキスタン、東日本大震災、ハイチ、ネパール、イラクなどの開発途上の国々や被災地、紛争地域に派遣され医療ボランティア活動に従事されています。講演では、映画「風に立つライオン」の舞台と同じケニアで勤務されたお話をはじめ、医療設備が十分に整っていない地域でのご苦労や医師としての遣り甲斐を感じたお話、人の命を助けるために危険を承知で活動されてきた先生の姿に驚き尊敬の念を抱いた生徒も多かったようです。また、現地でのアンケート実施の結果からわかった子どもたちの願いが「学校へ行きたい」等、でした。それらは日本ではごく日常のことばかりで、自分たちがどれだけ恵まれた環境にあるかに気づいた生徒もいました。最後に紹介されたお話は「ハチドリの一とすく」のように「いま、自分にできることをする」というメッセージでした。先生の気持ちが込められたこの寓話を聞いて、「将来、先生のように人助けをしたいと思った」など、多くの感想が寄せられた講演でした。



## ○芸術鑑賞会

10月18日(水)、芸術鑑賞会が行われました。今年度は、劇団14+さんをお招きして、音楽劇『サンゲツキ』を観賞しました。原作となった中島敦の『山月記』は、現代文の教科書にも掲載されており、2・3年生の生徒は授業で学習していたこともあって、真剣に劇に見入っていました。1年生も授業で学習するのが楽しみになったようです。生の演劇に触れるという貴重な経験を通して、生徒は芸術の秋を感じたのではないのでしょうか。

～以下、生徒の感想抜粋～

- ・「文章では、自分で想像したりできる良さがあるが、劇という形になると、演じる人が作品をどう捉えているのか、直接的に伝わってきて理解できるというところが良いところだと感じた。」
- ・「マイクなしで歌っている姿や、汗だくになりながら演じられている姿がとても心に響いた。また機会があったら、ぜひミュージカルを見てみたい。」
- ・「ただ楽しいだけで終わるのではなく、『山月記』の内容の深いところまで表現されており、考えることも多く、とてもためになった。」



## ○佐南オープンデー・学びシェアプログラム

10月16日(月)から10月24日(火)まで、佐南オープンデー・学びシェアプログラムを開催しました。南高の授業力向上のため、職員が教科の垣根を越えてお互いの授業を見学し合い、授業研究を行う行事ですが、他校の先生方や、県教育委員会から英語・数学の先生方にも来校していただきました。特に英語科では、大学入試改革に対応するために、今後の指導をどのようなものにしていくか等、活発な議論が展開されるなど、とても充実した期間にすることができました。今後も職員・生徒、気持ちを一つにして、将来の進路目標達成のために努力していきたいと思えます。



## ○部活動

### ・剣道部

佐世保地区新人大会

<団体戦> ベスト8

<個人戦> 松永寛大 (2年5組) 3位

### ・男子バドミントン

佐世保地区新人大会

<団体戦> ベスト4

<個人戦> 山口功将 (2年6組)・木内柊汰 (2年4組) ペア ベスト12 ※県新人戦進出

### ・女子バドミントン

佐世保地区新人大会

<個人戦> 北川麻琴 (2年4組)・香月菜々子 (1年3組) ペア ベスト8 ※県新人戦進出  
住吉琳帆 (1年6組) ベスト12 ※県新人戦進出

### ・美術部

県高校美術展 江嶋菜月 (1年6組) 入選 ※九州大会進出

### ・放送部

第39回九州高校放送コンテスト県北地区大会

<朗読部門>

優秀賞 佐藤友樹 (2年1組)、立木茜 (2年1組)

優良賞 吉村優姫乃 (2年3組)

<アナウンス部門>

優秀賞 初手理歩 (2年1組)

### ・柔道部

佐世保地区新人大会

<個人戦> 中尾竜太郎 (1年2組) 3位

### ・男子バレーボール部

佐世保地区新人大会 **優勝**

### ・女子バレーボール部

佐世保地区新人大会 ベスト8

### ・女子バスケットボール部

平成29年度 第70回全国高等学校バスケットボール選手権大会 準優勝

